

視聴覚教育

NO. 418

発行日

27. 12. 25

発行

岡崎市OAVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる!?

「SSD」(ソリッド・ステート・ドライブ)

従来のHDD (ハード・ディスク・ドライブ) に続く記憶装置。HDDに比べ、動作が高速で静かなのが特長である。今年度更新された教室用PCにもSSDが採用されており、高速な起動に大きく寄与している。

視聴覚機器保有調査の報告

現職研修委員会学習情報部研修部会

学習情報部研修部会では、平成二十七年九月に各学校の視聴覚機器の保有状況を調査した。調査の内容は「機器の保有状況」「購入を希望している機器」「使用して便利だと感じた機器・ソフト」の三項目である。詳細は年度末刊行される『岡崎の視聴覚教育第四十七号』に掲載されるので、ここでは概要を述べる。

主なICT機器の一枚あたりの平均保有数は【表1】の通りである。昨年度、最も購入希望校が多かったHDDデジタルビデオカメラは、今年度は全体で10台増加している。教材提示装置については、今年度も購入が多く、全体で19台増加している。中学校での増加がないのは、タブレット端末のカメラ機能の利用が進んでいることによると考えられる。持ちやすく、安定した撮影ができること、大画面により多人数で映像を見られること、スカイメニューによる画像の共有ができることなど、使い勝

主なICT機器の平均保有数【表1】

機器名	小学校	中学校	小中全体
教材提示装置(書画カメラ)	15.6(15.2)	11.6(11.7)	14.4(14.1)
HDDデジタルビデオカメラ	2.0 (1.8)	2.6 (2.5)	2.2 (2.0)
プロジェクター(3500ルーメン以上)	0.6 (0.6)	1.0 (0.7)	0.7 (0.6)
デジタル一眼レフカメラ	1.1 (1.0)	1.7 (1.6)	1.3 (1.2)

※1 単位は、台 ※2()内の数字は昨年度の平均保有数

手のよさが評価されている。手元での操作を映して見せられるよさをもつ教材提示装置と併せ、さらなる活用の促進が期待される。「主な購入希望機器」は【表2】の通りである。HDDデジタルビデオカメラ、DVDデュプリケーター、ワイヤレスアンブレデジタルビデオカメラの購入希望の増加とともに、撮影した映像を保存するためのHDD・DVDレコーダーの購入希望も増えている。

一方、タブレット端末に関しては、小学校からの購入希望が多いことが特徴的である。各教科における利用だけでなく、特別支援教育における学習の個別化が図れるなど、多方面において活用の可能性を感じている学校が多いようだ。ワイヤレスアンブレも機能が充実したためか、希望する学校が増えている。

今後、特に音響機器の整備に関しては、各校において計画的に取り組む必要がある。本調査においても、その動向を見極め、各校における機器整備の一助となるようにしたい。

主な購入希望機器【表2】

機器名	希望校数
HDDデジタルビデオカメラ	12校
デュプリケーター	10校
ワイヤレスアンブレ(CD付き)	9校
教材提示装置(書画カメラ)	8校
HDD・DVDレコーダー	7校
タブレット端末	6校

II 視聴覚教育あれこれ

● 自作視聴覚教材の活用

自主サークル「おかざき映像教材研究会」制作の教材がもうすぐ完成します。いずれも子供の学びを深めるのに役立つ教材ばかりです。二月の学習情報主任会において、各小中学校に全教材を収録したDVDを配付する予定です。過年度制作の教材も含め、授業などでぜひ御活用ください。

A班 『育てる漁業』 三河湾のクルマエビ』 (ビデオ教材 対象 中学二年 社会)

B班 『ブルーベリー農家の挑戦』 日本の農業の未来』 (ビデオ教材 対象 小学五年 社会)

C班 『家康と岡崎』 家康とともに歩む未来』 (ビデオ教材 対象 社会教育)

D班 『流れる水のはたらき』 水と共に生きる』 (ビデオ教材 対象 小学五年 理科)

E班 『密着!新聞ができるまで』 (マルチ教材 対象 小学五年 社会)

F班 『完全網羅 中二理科実験サポート』 (マルチ教材 対象 中学二年 理科)

※各班の教材のタイトルは仮題です。

● 昨年度の自作視聴覚教材活用事例

『ビデオ教材』「おかざきの狛犬づくり」

この作品は、岡崎市内で狛犬を作り続ける綱川さんの思いに触れ、小学四年生の「昔から伝わる産業」の単元における活用を目指した教材である。実際の授業では、石製品作りについて基礎的な知識をおさえた後、この教材を視聴した。綱川さんの思いに触れた子供たちからは、「伝統を守ろうとする綱川さんはすごい」「これからも岡崎の伝統を守っていききたい」という意見が出された。

自作視聴覚教材の良さの一つは、身近にあるものを取り上げること、郷土に愛着をもたせることができるという点にある。今回の本学級における授業実践では、その点が顕著に表れ、子供たちの郷土への愛情を育むことができたと考えられる。

実践報告Ⅱ

「漢プリっこ」筆順シミュレーションを用いて

井田小学校 鶴巻 司

一年生国語科の授業で、初めて「ひらがな・かな・漢字」を学習する子供たちに、教室の大形ディスプレイと教室常設の新型PCに導入されたソフト「チャレンジ漢プリっこ」を活用した。

これまでの授業では、マグネット罫目の板に色チョークで筆順を分けて示し、鉛筆を持つ手の人差し指で空書きをして、筆順の学習をしていた。しかし「漢プリっこ」の筆順シミュレーションを使えば、より効率的に学習を進めることができる。SSD搭載による新型PCの起動時間の短縮も相まって「漢プリっこ」を使用する頻度が増加した。

「漢プリっこ」の利点の一つに、子供の運指の速度に合わせた、より人間に近い筆順練習ができる点がある。指の運びが速くなる場所・緩くなる場所ではそれに合わせた表示がされたり「止め・はね・はらい」に合わせてペンギンのキャラクターが効果音を出すようになっていたりするなど、



低学年における運筆指導への配慮がなされている。また、このソフトでは、漢字の読みの定着を図るためのフラッシュカード形式の問題を、テンポよく出題することができる。子供たちは、自分が一番初めに読んでやろうと、食らいつくような目で画面を見、我先にと大きな声で漢字を読む。

「音が出ておもしろい」「大きな字を、本当に指でなぞっているみたい」「友達ときようそうするのが楽しい」などと、子供たちが楽しみながら漢字の学習に取り組む姿が教室に溢れるようになった。

今後も、子供に「漢字の学習は楽しい」と思わせるられる「漢プリっこ」の活用を工夫したい。

レッツ・トライⅡ

「ミクロの世界をデジタルで身近なものに」

顕微鏡で見えるミクロの世界。普段見られない世界である。大人すら引き付けるその世界の魅力は、子どもの好奇心を大きく揺さぶるものである。この魅力をさらに大きなものにしてくれるものが、タブレット端末やデジタルカメラの「デジタル顕微鏡」としての利用法である。

今回紹介するデジタル顕微鏡は二種類。一つ目は、タブレット端末のカメラと組み合わせる「Leeye(エルアイ)」である。タブレット端末のカメラに、プレパラートの形状のプレートを試料とともに乗せるだけで、タブレット端末が顕微鏡に早変わりする。通常の顕微鏡では撮影が困難な拡大像も、この「Leeye」なら簡単に拡大像が撮れる。タブレット端末のインカメラ(液晶画面側のレンズ)を使えば、タブレット端末の画面を見ながら観察することもできる。取り扱いがし易く、授業での煩雑な準備・片付けが簡易になる。

二つ目は、一部のデジタルカメラにある「顕微鏡モード」という機能である。ごく至近距離でもピントを合わせることができ、鮮明な写真が撮れる。また、無線通信機能を搭載している機種であれば、そのままプロジェクト等に画像を無線で送信することも容易であり、鮮明な映像を拡大して提示することにも向いている。

実際に顕微鏡に触れ、その使い方を身に付けることは大切である。しかし「今日の学習では観察することに集中してほしい」という授業では、これらの機器を使ってはいかがだろうか。



(岩津中学校 学習情報主任 矢部貴司)

ライブライブラリーだよ

●今年度の子どもビデオ教室が終了しました

終了しました

今年度も、子どもビデオ教室が計三回開催されました。矢作南小・生平小・北野小で、のべ五十人以上の小学生が参加しました。デジタルビデオカメラで撮影し、ノートパソコンを使って編集、計29本のすばらしい作品が制作されました。

来年度も子どもビデオ教室を開催予定です。多くの小学生が映像制作にチャレンジしてくれることを期待しています。

●教材・機材の貸し出し

視聴覚ライブラリー保有の教材・機材の検索や予約は、電話や視聴覚ライブラリーのホームページからできます。インターネット予約には、各学校に配付されているIDとパスワードが必要です。教材・機材の予約は三か月前からでき、最長で一週間の貸し出しが可能となっています。

視聴覚ライブラリーは、各教科・領域の授業だけでなく、学校生活の様々な場面で活用できる教材を多数所蔵しています。所蔵する教材の一覧は、「視聴覚教材・機器利用手引き」に掲載されています。インターネットでの検索も可能です。たくさんの方々の学校、たくさんの方々の積極的な御利用をお待ちしております。

※お問い合わせ先

岡崎市視聴覚ライブラリー

電話 二三-六七八九